

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス めばえひまわり		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年2月5日		～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童生徒の成長を長いスパンで関わることができている事業所であること。遠くに引っ越してでも利用したいと思われる事業所であること	開所して以来、利用している児童が、高校卒業し、社会人になりました。最初から最後までその児童と向き合い、一緒に成長できる事業所である為に、保護者との連絡及び本人との心の交流を常に意識しておこなっています。一度入ったら未永く付き合っていける事業所でありたいと考え、児童生徒に取ってこの場所が家以外のホット出来る居場所であるよう心がけています。遠方に住んでいても会いに行きたいと思わせる事業所です。	長いスパンで利用される方が多いので、子の成長を添い遂げる事業所で有りたいたいと思っています。卒業進路に関するの情報提供及び、相談を受け親身に対応できるようにしていきます。
2	経験値を増やすための活動が、豊富であり、外出活動において、安全安心に遊べる場をたくさん知っていること。	海や川、プールなどの夏を満喫する行事、いちご狩り、梨狩り、BBQなど春秋を感じ取れる行事、温泉や、クリスマス会など冬の温かさを知ることができる行事など、季節を五感で味わう経験を培わせることを意識しています。	活動をグループ分けにて行うことにより、手厚い支援、自主性を重んじる支援と多彩になった印象がありますので、今後も、長期休暇中・土祝の活動においては、実施していきたいと思っています。
3	グループ別活動の実施を行っている点。(年齢別だったり、趣味別だったり)	今年度は児童生徒の発達段階に応じた支援、グループ分けを行い、活動内容に幅を持たせました。	グループ別活動を行う意義として、手厚い支援を必要とする子に対しての活動の幅を広げるチャンスが出来る事、学齢高い生徒においては、自主性を促し自立を意識した活動を提供できる点にあります。例えば、全員の児童生徒が同じ映画を見ることは難しいのならば、低月齢の児童は、体を動かす遊び、高月齢の生徒は公共交通機関練習など分けて幅が広がると感じています。今後も行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足により、児童生徒に対して細かな部分までのフォローができていないということ	本来ならば、子を主体で考えての活動であるべき姿を、職員人員の不足により、活動に制限、利用をお断りする日があったことに関しては、反省すべきところであると思います。安心安全を軸に置いた場合、新たな活動を行う機会が少なくなっていることに関しては課題です。	職員の人員の補強は必要と思います。そのために求人媒体のアプローチや、児童福祉に興味がある学生アルバイトを募集するなどの策を講じていきたいと考えます。
2	地域との関わりが、薄いということ	以前よりも、地域との関係性においては良好な関係を築けるようになってきたと感じているも、例えば、災害が起こり、その時のフォローアップ体制に関しては関係の薄さを感じる場面があります。	同じ地域に、児童発達支援・放課後等デイサービス・幼稚園があり、何らかしらのお互いの面識を持ち、例えば児童が心肺停止をしたときに、AEDを借りる約束等、目の前にあるリスクを最小限にとどめるよう、事前打ち合わせを行っていただければと思っています。
3	ペアレント・トレーニングを兼ねた研修会を行っていない事。	保護者会は、11月に一度実施して好評でした。職員・保護者がフランクに話が出来た事により、保護者の方々に温かい場所であると感じていただきました。ペアレントトレーニングに関してはまだ実施しておらず、まずは保護者の方々のニーズは何かを知ることが必要かと思われます。	まずは保護者宛にアンケートを行い、研修を行う上で興味のあることの調査を行ってきたいと思っています。そのことを踏まえて、福岡めばえで話し合い、保護者ニーズにあった研修会の検討にうつります。